

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・今月の中旬にG2競争があり、売上が上昇している。
		商店街（代表者）	それ以外	・他業種の動向、他商店街の近況、当商店街の客の動きなどから判断すると、全ての業種ではないが良い方向に向かっている。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	お客様の様子	・高額の商品にもかかわらず、購入していく20～30歳代の新規客が増えている。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・父の日需要で衣料品の動きが良く、客単価が前年の110～120%と好調である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年をクリアしている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・6月の販売状況は前年比110%となっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・4月下旬の改装グランドオープン後、専門店ゾーンの上売上は前年比115%で推移し、テナントでは新規店と店舗面積が拡大した店が好調で全体をけん引していることに加え、イベント広場の環境整備でファミリー客が増加している。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・各業界での値上げを受け、当店でも4月から一部商品の値上げをしているが、客の財布事情が良くなっているためか、予想外に不満の声は少ない。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・初夏に向けて来客数が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・6月は総会等で宿泊数が伸び、それに伴ってレストラン客も増加している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・景気回復は期待できないが、旅行の受注量が増加している。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏のボーナスの影響もあり、夏休みを中心とした需要が前年度と比較して若干伸びている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気は良い。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・例年に比べて快適な気温の日が少なかったことから、個人客を中心に来場者の数は減少しているが、国内団体客と外国人旅行者が好調に推移していることから、全体としては前年比増の来場者数となっている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・見学会やセミナーなどのイベントへの来客数が増加しており、いずれも真剣に購入を検討している模様である。
		住宅販売会社（営業担当）	販売量の動き	・受注案件が増加して着工棟数が増えている。
		商店街（理事）	お客様の様子	・バーゲンセール前なので客はなかなか購入しない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客の来店頻度が低下しており、配達のみで切り替える店も出てきて人が集まる施設が減少している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客は必需品だけを購入しているが、大量に購入する客も出始めている。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・郊外のショッピングセンターのオープンによるオーバーストアの状態が顕著化し、客の分散化で売上確保が難しい。また、中心部でも県外からのプライダージュエリーショップや同業者の出店による競争が一段と激しくなっている。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・年度末が過ぎてゴム印と印鑑注文が低迷しているが、今月は株主総会が多く、役員交代関連の注文が増加しており、全体売上は前年並みである。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・不昧公200年祭で茶会が催されているので売上が伸びているが、大型スーパーなどでの茶の売上は前年を下回っており、祭りが終われば売上は落ち込む。	
	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・人の流れに変化がない。	
	一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・相変わらず来客数の前年割れが続く、1品単価は値上げの影響により上昇している反面で、販売数量は減少しており、特に酒類の減少が大きい。	
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・新ブランドを導入した化粧品は好調である。売場改装前の売り尽くしの食品やキャンペーン実施中の貴金属など好調な部門もあるが、前年に売上の10%を占めていた別注品の売上が今年はなく、全体では大きく前年販売量を下回っている。	

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・父の日が終わって、6月下旬から始まるクリアランスセール待ちで客の財布のひもは固く、厳しい月末商戦となっている。来客数は前年並みながら下見による買い控えが散見される。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・プレセールが始まっており、販売量は前年並みで、特選ブランドの化粧品は好調であるが、婦人服の動きは今一つである。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・送料の値上げで心配されたお中元は、緊急策のポイント5倍が奏功したことから、売上が前年を上回っており、条件の良いときに購入する客の姿勢が見て取れる。反面、本来その条件であれば高伸すべき婦人、紳士を中心とした衣料品は、いずれも前年に比べてマイナスとなっている。月末には前倒しでのセール開催が控えているのでばん回は図れるが、基調そのものは回復してきていない。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・気温が高くなり夏物衣料の動きが良い。物産展も好調に推移しており、ボーナス時期なので客の様子は明るく、客単価が上昇している。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円以上の時計や陶器は売れているが、まだ安心できない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価に変化はない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・梅雨に入っても5月から来客数は横ばいで推移している。
スーパー（店長）	お客様の様子	・依然として客の購買動向は節約傾向が強く感じられ、景気の上向き感はない。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・相変わらず、安価商品の動きが大きい。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・客単価は前年を上回っているものの、来客数は横ばいで推移している。
スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・野菜の販売点数は増加しているが、単価が下がり、来客数も減少しているので売上が伸びない。日配品や総菜は堅調で前年をクリアしており、全体売上は前年を維持している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・期待していたほど来客数は増加していない。
コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数が減少している。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・景気が不安定で来客数が減少している。
家電量販店（店長）	単価の動き	・低価格商品の構成比が上昇しており、販売単価が伸びない。高付加価値商品の販売はあるが、中間価格帯の商品が落ち込んでいる。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・客単価が上昇している。
家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・白物家電の動きが特に悪く、来客数と売上が増加しない。
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・エアコンの動きがまだ盛り上がらない。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型車効果で販売量は3か月前と変わらない。
乗用車販売店（店長）	単価の動き	・来客数、販売量共に好調で高額車両がよく売れている。新車販売の台当たり単価は250万円となっている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数は前年と変わらないが、単価が低下している。
その他専門店 [和菓子]（経営者）	販売量の動き	・来客数、販売数共に大きな変化はない。
その他専門店 [土産物]（経営者）	来客数の動き	・観光バスの増加で来客数は増加しているが、個人客は減少している。職場への土産も以前のように売れず、客は吟味して買っている。
その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	来客数の動き	・体験型のアミューズメントは引き続き人気がある一方で、近隣に大型商業施設がオープンしたことが影響して前年より来客数が減少している。特に服飾関係の売上はその影響に加えて天候不順も重なり、全体的に前年を下回る状況である。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は増加しているが、客の収入が低下している。

その他飲食 [サービスエリア内レストラン] (店長)	来客数の動き	・客の購入量に変化はない。
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・レストランでは週末に客の動きはあるものの、平日は予約客のみである。宿泊ではインバウンド団体の受入れはやや落ち着いているが、個人客が安定して増加傾向にある。宴会では県内企業の受注はあるものの、中四国あるいは全国規模の大会などの受注は減少しており、売上の規模は縮小している。
タクシー運転手 タクシー運転手	販売量の動き お客様の様子	・ボーナス時期であるが人の動きは悪い。 ・梅雨に入っても雨量が少ないので昼間の乗客数は増えないが、気温が高くなって人の動きが出ている夜間の乗客数は増加している。
通信会社 (総務担当)	それ以外	・通信業界の景気は横ばい状態である。
通信会社 (企画担当)	お客様の様子	・サービスの引き合いや問合せの際、最初から前向きに検討する客が多い。
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・来客数、商品販売高共に前年同月から変動がない。
ゴルフ場 (営業担当)	単価の動き	・景気は上向き傾向であるが、4月からの値上げの影響が5月に出ており、前年の70%と来客数が大きく減少している。
美容室 (経営者)	販売量の動き	・ボーナス時期なので高額なサービスを注文する客があり、売上は伸びている。
設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・住宅に関する引き合いが低調な状況が続いている。
設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・消費税の引上げに呼応した客の来場が増えている一方で、余り増税に関心がない客もいる。同業他社の聞き取りでも同じ傾向がうかがえ、伸びている会社と芳しくない会社に大きく分かれる。
設計事務所 (経営者)	販売量の動き	・例年新年度になると住宅の耐震診断と耐震補強工事の依頼が出てくるが、今年度は申込件数が少なく、予定していた販売量に届かない。
商店街 (代表者)	単価の動き	・アウトレットモールの開店が影響し、バーゲンセールが始まっているのに売上が悪化している。
一般小売店 [眼鏡] (経営者)	来客数の動き	・消費税の引上げを控え、石油価格の上昇なども家計に影響している。
百貨店 (売場担当)	お客様の様子	・従来、百貨店の平場や自主編集売場である婦人用品雑貨、婦人靴、バッグ等の売場状況が極めて悪く、購買動向の潮目が変わりつつある。
百貨店 (売場担当)	お客様の様子	・ファミリー層の衣料品の動きが鈍く、特に子供関連の動きが悪い。ミセス層も先行クリアランスセールに踊らなくなっており、値下げしても衣料品の動きに変化はない。
スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数は前年の98~99%で客単価も上昇せず、売上も前年の99%である。
スーパー (販売担当)	単価の動き	・衣料品や食品などの生活必需品や比較的低価格の商材は好調に推移しているものの、高単価の家具家電は前年の76%と落ち込みが著しく、全体の足を引っ張る結果となっている。
スーパー (財務担当)	販売量の動き	・1品単価上昇により客単価は上昇しているが、購入点数と来客数が減少し、既存店売上の前年割れが続いている。
コンビニ (副地域ブロック長)	お客様の様子	・ドラッグストアやスーパーの営業時間の延長が大きく影響するとともに、特にドラッグストアでの取扱品目が拡大してコンビニと変わらぬ品ぞろえとなっていることが影響し、週末と平日の夕方以降は来客数の激減が続いている。
衣料品専門店 (経営者)	競争相手の様子	・問屋が全国的な展示会を開催しても売上が伸びず、絹価格に伴い商品が値上がりしている。
乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・サービスメンテナンスの客と販売量が減少しており、景気は悪い。
自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・ここ数か月、当業界は販売に盛り上がりや欠いており、中旬から低空飛行している。
その他専門店 [布地] (経営者)	お客様の様子	・客の財布のひもは固く、梅雨に入って客足が鈍い。
高級レストラン (宴会サービス担当)	来客数の動き	・土日はそれほどでもないが、平日夜の来客数が減少している。

	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・来客数が少なく、客単価も低下している。
	一般レストラン (外食事業担当)	お客様の様子	・来客数が前年の103%で推移し、客単価も110%に達するなどランチタイムの売上は伸びているが、予約と宴会需要の構成が80%台に落ち込んでいるディナータイムの売上は前年の95%以下となっている。サッカーワールドカップの放送開始以前からディナータイムの来客数の減少は始まっており、平日は前年の90%以下である。また、ファミリー客と飲み会の減少に伴い、ビールの売上も低下している。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・地方では中小企業の景気が悪くなっている影響もあり、夜の飲食業界は景気の落ち込みが続いている。
	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・月初めの先行予約が悪いなかスタートしたが、現在も伸び悩んでいる。
	通信会社(広報担当)	単価の動き	・客はとにかく価格の低いものを求めている。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・新規契約件数が伸びない。
	美容室(経営者)	競争相手の様子	・近隣の店主からは、売上が上昇せず来客数が減少している話しか聞かない。
x	スーパー(店長)	来客数の動き	・生鮮品、特に魚と野菜を購入する客が減少しており、ウナギのかば焼きは前年からかなり高くなっている。
x	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・年末から3月にかけての競合店出店と、周辺道路の開通で店の前の交通量が減少して売上、来客数共に減少している。
x	乗用車販売店 (総務担当)	来客数の動き	・来客数が減少し、販売台数も前年を下回っており、新型車発売前なのに危機的な状況である。
x	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・当社だけではなく、ホームセンターの客は減少している。
企業 動向 関連  (中国)	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・日本の自動車産業が好景気なので当社も好調である。
	化学工業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・主要原料である苛性ソーダの仕入れ単価の値上げに伴う販売単価の値上げ交渉は、取引先の安定した生産量を受けてほぼ決着している。
	金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・工作機械業界からの受注量が3か月前に比べて50%増加し、当社の主力である大型機械の受注が増えている。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・順調に受注がある。
	通信業(営業企画担当)	受注量や販売量の動き	・中国地方の客へのモノのインターネット、ロボットによる業務自動化に関する提案機会が増加するとともに、それらの受注が進み始めており、ローカル地域での新サービス需要が高まってきている。
	金融業(貸付担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事の請負金額が前年比プラスとなり、大型工事も件数、金額共に前年比プラスとなっている。
	農林水産業(従業員)	受注量や販売量の動き	・単価が仮に安くても、余り買う気がない印象を受ける。
	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・梅雨でも雨量が少なく暑い日が続く、受注販売量が減少している。
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。
	繊維工業(監査担当)	受注量や販売量の動き	・当業界はここ数か月が完全な閑散期となり、ほとんど荷動きと売上がない時期なので、景気の動きは感じられない。
	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・出荷が好調な状態を維持できている。
	窯業・土石製品 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量の動き	・大型案件の生産は終了して多忙感は一服しているが、鉄鋼向けを含め生産は多忙な状態が続いている。
	鉄鋼業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・米国輸出関税の影響で出荷量の減少が懸念されたが、競合である欧州も同様に課税される見通しなので影響は最小限でとどまっている。
鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・各分野が好調ななかでの一時的な調整局面となっており、自動車、工作機械、建機など個別の需要分野は好調を継続しているにもかかわらず、人手不足や労働時間規制などの影響で部品待ちなども発生し、想定よりも生産量が伸びない。	

	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量は前期並みを維持している。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・予定物件と手持ち工事で手一杯の状況が続いており、鉄骨工事などは受注の可能性が出た段階で協議することで、工期遅延などの状況が発生しない対策をしている。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・電子商取引での発送は順調であるが、個人客の発送が低迷している。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・取引先の状況に特段変化はない。	
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・回復傾向にあった荷動きが鈍化しており、倉庫、海運関連を中心に余り変わらない状況になっている。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器などの需要や既設更改などの受注量と売上に増加傾向などの収益変化が少ない。	
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・系列完成車メーカーのスポーツ用多目的車の販売が好調なので、自動車部品メーカーの受注は高水準を維持している。操業は1日1～2時間の残業と月2回程度の土曜日出勤を継続しているが、人手不足感が強まっており、期間工の募集が常態化している。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数共に大きな変化はない。	
	会計事務所（経営者）	取引先の様子	・客の増加と減少がきつ抗しており、既存の売上減少を新規分野の売上で補っている状況である。	
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・住宅関連を中心に受注、販売量共に伸び悩んでいる。同業他社も全体的に苦戦しており、材料等の調達コストの上昇により値上げを試みているが、なかなか価格転嫁は難しい。	
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料向け製品の受注が下降傾向である。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・製造装置の出荷台数の減少に伴い売上も低下している。	
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	それ以外	・原材料費の高止まりのため、特に一部価格転嫁できない海外向け案件で不採算となっている。	
	その他製造業 [スポーツ用品]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内消費が余り伸びないなかで、原油高と材料費高などコスト上昇の要因はいくらでもあるが、販売価格の値上げはコスト競争の激しい状況では難しく、国内生産工場は非常に苦しい立場にある。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客からは、受注量減少のため今月は控え目に対応し、7～8月の繁忙期に上向きに進行させる意向があることを聞いている。	
	x	*	*	*
雇用 関連 (中国)		-	-	-
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人が増えている。	
	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・Web関連の補助業務の採用予定に対して、従来なかったその道のスペシャリストを案内しており、これを機に1つの事業の立ち上げを検討するまでに至るケースが出てきている。	
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・求人数は特に目立った動きはないが、労働契約法と派遣法の改正に伴い雇用形態や契約期間に影響が及ぶ2018年問題もあって、企業は雇用に慎重になっている。	
	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・有効求人倍率は依然として高水準を維持しており、多数の求人を抱えている状況である。	
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・7～9月にかけて求人数は増加するので3か月前より求人数は増加しているが、前年と同じくらいである。	
	求人情報誌製作会社（広告担当）	求職者数の動き	・新卒採用は理系7割弱、文系6割の内定を保有しているが、未内定者を含めて今後も就職活動を続けると回答している学生が全体の7割に上る。内定を保有しながら就職活動を続行する学生が前年より増加している。	
	新聞社[求人広告]（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率が高いレベルで推移しており、主要製造業の生産も数か月前に比べて持ち直し感がある。	

	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は医療機器メーカーから大量求人があるなど全般的に好調な製造業と、交通誘導業務で大幅増加となっている警備業を含むサービス業がけん引する形で、求人全体では前年同月比で横ばいとなっている。
	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・求人窓口は求人申込み手続きで混み合っており、新規求職者数が前年同期比で8.4%減少するなかで、新規求人数は18.3%増加している。また、有効ベースも新規に呼応して有効求人数が前年同月比で6.8%増加、有効求職者数は8.4%減少しており、有効求人倍率は引き続き高い状況で推移している。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求職者数の動き	・求職者の動きに変化はなく、国の施策の影響もない。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	求職者数の動き	・景気と求人の状況が連動しておらず、景気の良さあしと関係なく人手不足である。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求職者数の動き	・地元で開催される就職フェアの回数は増えているが、そこに参加する学生数は減少している。企業の採用熱は依然として高いが、人材を確保することは難しい。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・正社員、アルバイト募集共に年間を通して最も多い時期である3～4月に比べると6月は人の充足もあり落ち着いている。
	x	-	-